

。oO。。oO。

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2016. 6. 14

下水道機構の『新技術情報』 第238号

(公財) 日本下水道新技術機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

。oO。。oO。

昨日、関東地方は久々にまとまった雨が降りました(^)个。雨風で出勤は大変でしたが、しっとりと雨に濡れたアジサイに見とれていました。関東の水がめは、依然として貯水率が低いままのようです。引き続き恵みの雨を願って(^)/

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第238号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

・7/7(木)@東京会場、7/13(水)@大阪会場にて技術マニュアル活用講習会を開催します

・6月の技術サロンは、地方共同法人 日本下水道事業団 情報システム室長 富樫 俊文氏をお迎えして開催しました

・下水道機構の「中期事業計画」を策定しました。併せて、パブリックコメントで頂いたご意見と対応方針を掲載しました

■機構の動き

・今週は、6/17(金)に審査証明委員会を開催します

■Tea Break

・断水(資源循環研究部 OMさんからの投稿です)

■まる子のゆいまーる♪

・本日のゆいまーるは、機構OBのM.Aさんからの投稿です

■国からの情報

・6/10付下水道ホットインフォメーション

。oO。。oO。

インフォメーション (最新の話です)

。oO。。oO。

●7/7(木)@東京会場、7/13(水)@大阪会場にて技術マニュアル活用講習会を開催します

当機構が民間と共同研究し、とりまとめた新技術に関するマニュアルや技術資料を詳しく解説する『技術マニュアル活用講習会』を、7月7日(木)【東京会場】、7月13日(水)【大阪会場】で開催します。今年度は、次の9つの新技術について、担当技術者がパワーポイント等を使って、内容を詳しく、分かりやすく解説します。また今回は大阪会場でも開催します！みなさまのご参加お待ちしております！

【東京会場】

日時：平成28年7月7日(木) 10:00~17:00

場所：下水道機構8階 中会議室 (東京都新宿区水道町3-1)

【大阪会場】

日時：平成28年7月13日(水) 10:00~17:00

場所：大阪科学技術センター405号室 (大阪市西区靱本町1-8-4)

【参加費】

参加費(技術マニュアル・技術資料を電子化したCD代込)：2,000円(ただし、地方公共団体は無料)。参加費は、銀行振込でお願いいたします。振込先はWEB申し込み時の「参加証」に記載致します。また、当日は無線LAN接続によりマニュアル全文をダウンロードできるようシステム整備を予定しています。

【講習会への参加について】

講習会への参加は、原則終日となりますが、半日単位での参加も可能ですので、プログラムをご確認のうえお申込みください。

【定員】 東京会場80名、大阪会場60名

※先着順となります。

※技術マニュアル活用講習会の概要、プログラム及び参加申し込みはこちらから

<http://www.jiwet.or.jp/trainings/manual-seminar/manual-program>

【対象マニュアル】

- (1) 下水道マンホールポンプ施設の改築計画に関する技術資料
- (2) 下水道管路施設へのフラッシュゲートの適用に関する技術資料
- (3) ボルテックスバルブに関する技術資料
- (4) NADH風量制御を利用した嫌気無酸素好気法およびNADH風量制御を利用した循環式硝化脱窒法技術マニュアル
- (5) 下水処理場等における効率的な管理・運営のための情報共有に関する技術資料
- (6) チェーンフライト式汚泥かき寄せ機技術資料
- (7) 省エネ型反応タンク攪拌機の導入促進に関する技術マニュアル
- (8) 消化ガス発電普及のための導入マニュアル
- (9) 省エネ型汚泥処理システムの構築に関する技術マニュアル

●6月の技術サロンは、地方共同法人 日本下水道事業団 情報システム室長 富樫 俊文氏をお迎えして開催しました

今回のテーマは「日本下水道事業団における ICT（情報通信技術）の活用について～BIM/CIM, IoT～」でした。

富樫氏は、昭和63年日本下水道事業団（JS）に入社後、設計や工事事務所、本社勤務をされ、平成8年から11年まで情報システム推進室でJSの業務改革に従事されました。平成12年から平成24年まで総合事務所でのプロジェクトマネージャー、情報システム室調査役を経て、平成25年から現職の情報システム室長としてご活躍されております。

講演内容は、昨年10月のサロンで、畑田技術戦略部長（当時）より「情報・通信技術の活用による新たな可能性について」と題し、ICT技術による下水道の課題解決と近未来のイメージについてご講演いただきましたが、その続編として、現在、JSが進めているICT活用の具体的な取組についてご紹介いただきました。

BIM/CIMの取組事例として、限られた人員のなか、点在する業務拠点をつなぎ「遠くにある処理場を把握する」、「素早く計画を立てる」ことを目的に、処理場の3次元モデル化とその属性情報の構築及び設備台帳等との連携による施工管理や計画立案等を実施されています。将来的には、BIM/CIMモデルから設計・積算が可能となるシステムの導入も検討されているとのことでした。

また、業務の効率化を目的として、JS-INSPIRE（JS版情報共有システム）の構築による工事納品の自動化や時間短縮、インターネットを活用したモバイル会議システムや、現場映像の共有システム（構想段階）などのIoT技術にも積極的に取り組んでおられます。

講演では、下水処理場のBIM/CIMモデルのデモもご紹介いただき、聴講者もリアルな3次元モデルに興味深々で、多数のご質問やご意見をいただきました。

さて、次回のサロンは、7月14日（木）17:00から18:00での開催となります。ゲストは横須賀市上下水道局技術部長 長谷川浩市氏をお迎えして、「一般都市における持続可能な下水道事業への取組み ～下水道研究会議の活動と横須賀市の取組み～」をテーマに開催します。多数の皆様のご参加をお待ちしております！

お申し込みは機構ホームページから

→ <http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

●下水道機構の「中期事業計画」を策定しました。併せて、パブリックコメントで頂いたご意見と対応方針を掲載しました

公益財団法人 日本下水道新技術機構は、今後の技術開発の基本方針や取り組み姿勢を示すとともに、中期的な取り組みの考え方と主な研究項目を明らかにし、あわせて今後の審査証明事業や研修啓発事業の取り組み、管理運営も含め中期事業計画として取りまとめました。

詳しくはこちら

→ <http://www.jiwet.or.jp/about/chukikeikaku>

。○○。

。○。

●平成 28 年 6 月 17 日(金) 13:00~17:30

行 事：平成 28 年度第 1 回審査証明委員会

場 所：機構 8 階 特別会議室

案 件：平成 28 年度 建設技術審査証明（下水道技術）の各依頼技術の審議

○平成 28 年 7 月 14 日(木) 17:00~18:00

行 事：第 350 回技術サロン

場 所：機構 8 階 中会議室

ゲスト：横須賀市上下水道局 技術部長 長谷川浩市 氏

テーマ：一般都市における持続可能な下水道事業への取組み

～下水道研究会議の活動と横須賀市の取組み～

※参加申し込みはこちら

<http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

。○。

Tea Break （機構職員の感じるまま）

。○。

●断水（資源循環研究部 OMさんからの投稿です）

先日、平日に休暇をとったら、我が家の断水日にぶつかりました。給水管のメンテナンスのためにマンション一斉断水です。「よりによって断水の日に休みを取らなくても…」と妻は若干呆れ顔。断水は 9 時から 17 時。やかんに貯めた水道水と風呂の残り湯が我が家の武器です。

習慣とは恐ろしいもので、断水とわかっているのに、トイレに行ったら思わず水を流して妻に怒られ（タンク内の残り水で 1 回くらいは水が出ます）、風呂の残り湯をバケツでタンクに入れました。作業後には手を洗おうと水道の蛇口をひねって「断水だった…」と気付く始末。また、昼御飯にスパゲティをリクエストしたところ、「麺を茹でるのに水をたくさん使うでしょ」とまた妻に怒られ、それでもやかんのくみおきでなんとか耐えました。

断水にめぐり合ったのは人生初だったので、水が当たり前のように使える毎日はとてもありがたいものだと思えて感じました。一日分の水くらいならなんとかなくても、地震等被災により数日間の断水になった場合を想像して焦りを感じ、備蓄水を求めてホームセンターへ向かったのです。

。○。

まる子のゆいまーる （皆様との交流の場です）

。○。

●本日のゆいまーるは、機構 0B の M.A さんからの投稿です！

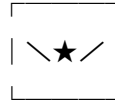
M.A さんご投稿ありがとうございました。

みなさまもどうぞお気軽にご投稿くださいね♪

<http://www.jiwet.or.jp/archives/yuimaru/2016-6-14>

皆さまからの情報提供をお待ちしております！

提供はこちらまで→



jiwet@jiwet.or.jp

※テキストは原則 400 字以内。写真等は A 4 版にして原則 2 ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、

掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

↓コチラからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

=====

下水道ホットインフォメーション（2016. 6. 10 付 国からの最新情報です）

送信元：国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部下水道事業課企画専門官 岩崎宏和

=====

下水道管理者にとって緊張を強いられる梅雨の季節となりましたが、関東地方ではほとんど雨が降っていないため、湯水が心配されています。隣の水資源部の入り口には、利根川上流 8 ダムの貯水状況が張り出されました。本日の貯水率は 43%ということです。

2015 年度ミス日本「水の天使」柴田美奈さんですが、現在大学 3 年で BS フジ学生キャスターとして活躍されているそうです。BS フジのブログでデザインマンホールについて書かれているとの情報を頂きました。

http://www.bsfuji.tv/caster_blog2016a/caster01/index.html

水の天使 0G となっても下水道について発信していただけるのはうれしいですね。

柴田美奈さんには、昨年 8 月京都府で主催した木津川上流浄化センター消化ガス発電起動式において事業紹介をお願いしましたが、自分の言葉で説明されたのに感銘を受けた思い出があります。その際、宇治市の某課長の計らいにより頂いたサイン色紙については、京都から持ってきていて現在、私の机の後に飾っておりますので、興味のある方はご覧下さい。

★★★★★ 今週のラインナップ ☆☆☆☆☆

○学研まんがでよくわかるシリーズ「下水道のひみつ」発刊（日本下水道協会）

○『下水道分野で働く女性のマガジン～GJ Journal』Vol.4「九州特集」発行！

（下水道分野で働く女性の会（GJリンク））

○「国土交通大臣賞（循環のみち下水道賞）」募集締切は6月20日です！（国土交通省）

=====

○学研まんがでよくわかるシリーズ「下水道のひみつ」発刊（日本下水道協会）

公益社団法人日本下水道協会は、(株)学研プラス（代表取締役：碓 秀行）とのタイアップのもと「学研まんがでよくわかるシリーズ『下水道のひみつ』」を制作し、このほど発刊しました。

ひみつシリーズは、あるテーマに沿って漫画で子供たちにわかりやすく説明する学習向け教材で、教員認知度80%超を誇る1972年発刊のロングセラー大人気シリーズです。

117作目となる本作「下水道のひみつ」は、このたび内閣府の許可を受けた（公社）日本PTA全国協議会の審査を通過し、公益性の高い内容であるとして本協議会審査委員会において高く評価いただきました。

本書は全国小学校と公立図書館に寄贈されますが、学研キッズネット内「まんがひみつ文庫」や、「電子書籍ストア学研 Book Beyond（ブックビヨンド）」でも無料で公開されるため、自身のPCやスマートフォン、タブレットからでも閲覧することができます。

【下水道のひみつ概要】

体裁：菊判、ハードカバー、本文128ページ

発行部数：29,000部

配布先：全国小学校（21,800校）、公立図書館（3,200部）

内容：ある日、主人公：水原めぐる（小学4年生）が、苦手な牛乳を流しに捨てようとする中、排水口の中から下水道の仙人：水仙人が現れる。めぐるは、弟のかんと同級生のじゅんと共に、水仙人から下水道のことを教えてもらいながら、下水道の役割や水の循環について学んでいく…。

（もくじ）

序章 雨水や汚水、どこに流れていくのかな？

第1章 下水道管をたんけん

第2章 下水処理場の仕事

第3章 下水道の歴史

第4章 水の再利用

第5章 汚泥の再利用

終章 水は大切な資源なんだ！

【問い合わせ先】

公益社団法人日本下水道協会 広報課

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-10-12 内神田すいすいビル

電話 03-6206-0205 FAX 03-6206-0265

- 『下水道分野で働く女性のマガジン～GJ Journal』Vol.4「九州特集」発行！
（下水道分野で働く女性の会（GJリンク））

『下水道分野で働く女性のマガジン～GJ Journal』Vol.4「九州特集」を
発行しましたので、お知らせします。

<vol.4 内容>

- ・巻頭特集－熊本地震
- ・私の下水道－九州GJ編－
- ・九州の下水道女子アレコレ 等

「GJ Journal」の専用ページはこちら↓

<http://www.gk-p.jp/gjlink/GJ-journal.html>

※「GJリンク」とは

下水道は生活を支えるインフラであり、多様な利用者の視点に立った事業運営のためにも下水道業界での女性のますますの活躍が欠かせません。しかし女性職員の少ない職場も多く、気軽に話せる同性がいない、ロールモデルとなる先輩女性が少ない等の悩みをもつことも多いようです。そこでGKP（下水道広報プラットフォーム）内に女性同士の繋がりを支援する場としてH25年に「下水道女子会（GJリンク）」を設置しました。女性同士のネットワークを築くとともに、情報発信や企画・運営などのスキルアップを図るための取り組みを行っています。

- 「国土交通大臣賞（循環のみち下水道賞）」募集締切は6月20日です！（国土交通省）

現在、国土交通省下水道部では、平成28年度「国土交通大臣賞（循環のみち下水道賞）」の募集を行っています。今年度の募集締切は6月20日（月）必着となっておりますので、積極的なご応募をお待ちしております！

※今年度は、これまでの3部門（「ネクサス部門」、「グローバル部門」、「イノベーション部門」）を「イノベーション部門」として再編します。さらに、これまでの「広報部門」は、「広報・教育部門」に改称します。

詳細は、以下のHPをご覧ください。

→（報道発表）平成28年度（第9回）「国土交通大臣賞（循環のみち下水道賞）」の募集について

http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13_hh_000302.html

→循環のみち下水道賞ホームページ（応募要領、応募調書、過去の受賞団体等）

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/crd_sewerage_tk_000085.html

=====

【参考情報】

◆インフラ官民連携拡大 下水道でも事業者公募 まず浜松市 財政負担軽減狙う 〈6/8 日本経済新聞〉

http://www.nikkei.com/article/DGKKASFS07H4X_X00C16A6EE8000/

◆下水道、資源眠る「地下鉱脈」 松木晴雄氏 〈6/9 日本経済新聞〉

<http://www.nikkei.com/article/DGXMZ003363930Y6A600C1SHE000/>

◆宮城県、被災下水処理施設で汚泥ガス発電事業者を募集 〈6/9 日本経済新聞〉

<http://www.nikkei.com/article/DGXLZ003430490Z00C16A6L01000/>

◆水の月 6月9日 〈6/9 産経ニュース〉

<http://www.sankei.com/column/news/160609/clm1606090002-n1.html>

◆浜松市、コンセッション方式説明会 西遠流域、下水道で全国初 〈6/8 日本経済新聞〉

<http://www.nikkei.com/article/DGXLZ003334770X00C16A6L61000/>

◆新たに道路陥没を発見、市道通行止め 名古屋 〈6/7 産経ニュース〉

<http://www.sankei.com/west/news/160607/wst1606070013-n1.html>

◆工事現場近くで道路陥没 幅6メートル長さ10メートルけが人なし 〈6/4 産経ニュース〉

<http://www.sankei.com/photo/story/news/160604/sty1606040031-n1.html>

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信停止はこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/member-mag-unsubscribe>

○ニューズレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20160531/>
